

「火の用心だより」

臨時号

発行：札幌市消防局予防部予防課

住宅火災による死者が相次いで発生

令和3年1月3日、4日、5日に、連続して死者火災が発生しました。火災原因は調査中ですが、火災は普段からの心掛けで防ぐことができます。

令和2年中の火災による死者は14名で、主な出火原因は、「たばこ」、「ストーブ」、「こんろ」、「電気関係」などです。

市民の皆様には、火災を防ぐポイントを確認いただき、火災を発生させない心掛けをお願いします。

●住宅防火～いのちを守る7つのポイント～

火災の発生を防ぐ【3つの習慣】

- ① 寝たばこは、絶対やめる。
- ② ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ③ ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

被害を抑え、人命を守る【4つの対策】

- ① 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- ② 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する。
- ③ 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器や自動消火装置等を設置する。
- ④ お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

●住宅用火災警報器と自動消火装置の設置を！

住宅用火災警報器は、火災の発生をいち早く知らせる警報器で、住宅への設置は義務化されています。また、自動消火装置は消火器とは異なり、火災が発生した場合、自動で消火剤を放出し、初期消火を行う簡易的な装置で、火災被害の軽減に有効です。札幌市では、高齢者のみでお住まいの世帯を対象として自動消火装置設置費用の助成を行っていますので、ご活用をお願いします。

詳しくは、お近くの消防署または札幌市消防局予防課（215-2040）まで。

住宅火災を防ぐために～火災事例とポイント

たばこ火災



寝たばこで布団を焦がし消火したが、布団の中に火種が残っていたため、数時間後に火災になったもの。

<予防のポイント>

- 寝たばこは絶対にしない。
- 灰皿に水を入れるなど、吸殻は完全に消す。
- 吸殻は、火が消えたことを確認して捨てる。
- 必ず灰皿のあるところで吸う。

ストーブ火災



ストーブの真上にかけていた洗濯物が落下し、ストーブの熱により火災になったもの。

<予防のポイント>

- ストーブの上方に衣類等を干さない。
- 燃えやすいものをそばに置かない。
- 火を消してから給油する。
- 燃料にガソリンを絶対に使用しない。
- 定期的に点検を行う。

こんろ火災



油を加熱し、そのことを忘れて子どもの世話をしていたため、時間が経ち火災になったもの。

<予防のポイント>

- こんろを使用している時はその場を離れない。
- 調理中こんろを離れる際は、確実に火を消す。
- こんろの周りには、燃えやすいものを置かない。
- グリル内はこまめに清掃する。

電気火災



テーブルトップのトラッキングにより、火災になったもの。

<予防のポイント>

- コンセント周りは、定期的に清掃する
- タコ足配線はしない。
- 電気配線の上に重たいものを置かない。
- 配線を束ねて使用しない。